

## 2018年度 YMCA自由なイルカたち 自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員を満たすスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準に沿った配置をしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		少しの段差があるがバリアフリーになっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○	PDCAサイクルで業務改善ではないが、職員同士で業務改善に向けた話し合いの実施などはある
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	アンケート実施はできていないが、口頭での意見を伺っている。今後、検討していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今回より自己評価をホームページなどに公表予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価の実施はできていないが、業務改善に向けての外部評価を今後検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部職員研修、外部研修など定期的に研修をしている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもや保護者のニーズなどを面談や活動の様子などを見ながらアセスメントを実施している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			評価シートを用いてのアセスメントを実施している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的な担当者会議の実施などでプログラムの立案を行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じた活動や参加者のニーズに合わせてプログラムを検討している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動時間や活動内容について個々の利用者に合わせて検討支援をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの様子を見ながら個別活動と集団活動のメリハリを整えながら活動を実施している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			送迎や活動内容についての確認を実施
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	支援終了後の振り返りができないが、気づいた点などはメールなどで共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		支援の記録は日々記載している、今後の支援の検証や改善できるように意識していく

## 2018年度 YMCA自由なイルカたち 自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行いサービス計画の見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			基本活動を組み合わせ合わせて支援をしている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議には子どもの状況にふさわしい者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校への送迎時に先生との連携をとったり適切に行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアの必要な子どもの受け入れは行っていないが必要時には連絡体制を整える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	現在、就学前に利用していた施設からの情報交換はできていないが、必要に応じて情報交換を行う
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、学校を卒業し移行する事例はまだないが、今後事例に応じて対応を行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修会には参加しているが、必要に応じて助言を仰ぐことにしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			児童館の利用や、YMCAの施設で行うイベントなどに参加している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	協議会への参加はできていないが、会議等には積極的に参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時などに保護者と現在の状況などの共有している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者への相談に乗っているが、ペアレント・トレーニングまでには至っていない。今後実施していく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧な説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			助言、相談などの支援を行っている

## 2018年度 YMCA自由なイルカたち 自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会の実施には至っていないが、保護者同士の連携を図る活動を検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応窓口を設置し、苦情対応を行っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報の発行までは至っていないが、ホームページ上で活動を報告している。会報の発行も検討中
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には注意している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			情報伝達の工夫をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域行事に参加協力をしたり、施設を開放しイベントを実施している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			安全管理ガイドラインを作成し、職員に周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会に参加、伝達講習を行うなど対応している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			サービス計画に記載し同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無の確認、除去方法の確認をしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人で事故報告書をまとめている